

令和2年2月6日(木)、沖縄県公安委員会定例会において、沖縄県警察から次の事項について報告があり、これを受けて審議等を行いました。

今週のトピック

警察から、「登下校時における子供の安全対策状況について」報告がありました。

1 質疑等

(1) 令和2年第1回沖縄県議会(2月定例会)会期日程(案)等について
警務部から前記事項について報告を受けました。

(2) 年次休暇の取得促進について

警務部から「令和元年中における沖縄県警察職員の年次休暇の取得日数の平均数は9.81日となり、沖縄県警において策定した『次世代育成推進法及び女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画』に示した年次休暇取得目標の7日を、平成29年から3年連続で達成した。今後も、所属や職員間での年休取得日数に開きがないよう業務管理及び勤務管理を、さらに推進していきたい。」旨の報告を受け、公安委員から「より良い業務を推進するためにも、働き方改革の推進に併せて、引き続き、年次休暇を取得しやすい職場づくりにも努めてもらいたい。また、取得率が低下するこがないよう、各種管理にも引き続き適切に実施してもらいたい。」旨の意見がありました。

(3) 登下校時における子供の安全対策状況について

生活安全部から「県内の通学路等における子供の安全対策を図るべく、各地区の子ども110番の家連絡協議会等との連携強化、学校主体による通学路の合同点検への積極参加、登下校路付近への防犯カメラの設置推進、県警察にて運営している『安心ゆいメール』の登録推進による不審者情報等の迅速な発信、郵便局等との関係協定の締結による子どもの見守り活動の活性化などを、それぞれ推進した結果、昨年中の、子どもに対する声掛け、つきまとい事案の認知件数は大幅に減少した。」旨の報告を受け、公安委員から「地域において子供の安全対策を推進し活性化するためには、地域住民の理解と協力を得ることが何よりも必要であることから、引き続き、協力体制の構築に努めてもらいたい。また、迅速に各種情報を発信するうえで、県警察の『安全安心ゆいメール』を活用することは、子供のみならず、地域住民の安全を守るうえで有益であることから、住民への周知拡大と登録促進に努めてもらいたい。」旨の意見がありました。

(4) 令和元年中におけるDV事案、ストーカー事案及び脅威事犯について(暫定値)

生活安全部から前記事項について報告を受け、公安委員から「県内におけるDV事案の約7割が飲酒に絡むものであるとのことから、県民への啓発を行っている『適正飲酒』を引き続き推進する必要があると考える。また、ストーカー事案や、つきまとい等の脅威事案については、行政機関等と連携した被害者保護や、加害者に対する臨床心理士によるカウンセリングなど、一過性の対応ではなく、継続的な支援を図ってもらい、被害の再発

防止を徹底してもらいたい。」旨の意見がありました。

(5) 令和元年中における福祉犯の検挙状況について(暫定値)

生活安全部から前記事項について報告を受け、公安委員から「福祉犯の発生状況は、社会の健全性を表す指標になりうると言っても過言ではない。青少年が犯罪に巻き込まれない環境づくりを関係機関と連携しながら継続し、危機感を持ちながら被害の抑止にも取り組んでもらいたい。」旨の意見がありました。

(6) 那覇・沖縄署管内における傷害(児童虐待)事件の検挙について

刑事部から前記事項について報告を受け、公安委員から「児童虐待事案は、被害児童の人命保護が何よりも最優先であることから、児童相談所や医療機関等とは連携を密にして一刻も早く覚知し、児童を一時保護した後も、適時適切に対応してもらいたい。」旨の意見がありました。

(7) 令和元年中における暴力団等組織犯罪対策の実施結果について(確定値)

刑事部から前記事項について報告を受け、公安委員から「暴力団等の反社会的勢力を排除するには、まさに社会全体で機運を醸成し、一丸となって取り組まなければ根絶までには至らない。県民の安全で安心な生活を実現すべく、暴力団等排除に向けた取り組みを、さらに強化してもらいたい。」旨の意見がありました。

(8) 令和元年中における運転免許行政処分執行状況について

交通部から前記事項について報告を受け、公安委員から「行政処分を受けた者を年代別に見ると、20代から40代の働き盛りが大半を占めており、経済的負担に繋がっていると思われる。このような現状の改善と交通事故の未然防止を徹底すべく、飲酒運転根絶に向けた取締りの強化を図りつつ、各種広報活動の強化にも努めてもらいたい。」旨の意見がありました。

(9) 東京2020オリンピック聖火リレー開催に伴う対応について

警備部から「本年5月2日、3日の両日に、『東京2020オリンピック聖火リレー』が県内で開催される。開催期間中は、聖火ランナーの安全確保や観覧者等の雑踏による事故防止、適切な交通対策の推進に努める。」旨の報告を受け、公安委員から「テロ等の不測の事態にも、適時適切に対応できるよう、万全な警備体制で臨んでもらいたい。」旨の意見がありました。

2 本部長総括

本部長から「県下全域において開催される東京オリンピックの聖火リレーに対しては、テロ等に関する幅広い情報収集や警備計画の策定等をしっかり行い、万全の体制で望みたい。」旨の総括がありました。

3 決裁・報告等(4件)

運転免許課

- ・ 審査請求に対する裁決について

警備部

- ・ 警備情勢について

生活安全企画課

- ・ 古物営業許可を申請する者に対する不許可決定通知について

総務課

- ・ 公安委員会関係報告

4 決定・裁定(1件)

運転免許課

- ・ 自動車運転免許の行政処分について